

オホーツク水圏環境学特論実験（二）（2単位）

担当者氏名 小林万里、瀬川 進、金岩 稔

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

海の高次捕食者である海生哺乳類や魚類についての研究をするにあたって、目標に即した野外調査研究計画、野外調査から得られる試料の分析方法や技術の習得、並びにそこから得られたデータの解析方法およびその解釈力を身につけることを目的とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

海生哺乳類 魚類 野外調査計画 分析
データ解析 データ解釈

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	野外調査計画	• 研究の目的に対しての野外調査計画を立て方についての注意点や考慮すべき項目を挙げ、各自野外調査計画を立ててもらう。	研究の目的にあった調査計画を立案することを習得する。
2			
3			
4	調査方法の検討（1）～	• 計画を遂行するためには、どのような方法で、どのようなデータを収集するのかを検討する。	野外調査の方法について理解する。
5	（4）		
6			
7	分析方法の習得（1）～	• 野外からの試料の処理の仕方、一般的な方法を習得することを目的に、実際に処理を体験する。	試料の処理方法について、一般的な方法を習得する。
8	（4）		
9			
10			
11	データ解析・解釈（1）～	• 得られたデータの解析方法およびその解釈について習得する。	データの解析方法とその解釈について習得する。
12	（4）		
13			
14	データの整理、考察	• 文献の収集、考察の仕方を教授する。	修士論文作成のための基礎技術、知識を得る。
15	（1）～（2）		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜、試料などを配布する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

授業参加態度（授業中の質問に対する回答等）を加点し、最終評価を行う。修士論文で評価する。

◆オフィスアワー

毎週月曜日の午後に、研究室で質問を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

自ら積極的に授業に臨んで欲しい。